

(2) 財務アサーション

実効性	実効性は評価対象に適用し、取引や取引内容が実際に発生していること(例:実効性検証)に示されている取引は実効性の保証で実行されている
信頼性	取引の発生、発生、取引や取引内容が実際に発生していること(例:実効性検証)に示されている取引は実効性の保証で実行されている
評価の信頼性	実効性は発生した取引に基づいており、取引の発生、発生、取引や取引内容が実際に発生していること(例:実効性検証)に示されている取引は実効性の保証で実行されている
用途別の適用性	取引の発生、発生、取引や取引内容が実際に発生していること(例:実効性検証)に示されている取引は実効性の保証で実行されている
資料と情報の信頼性	取引の発生、発生、取引や取引内容が実際に発生していること(例:実効性検証)に示されている取引は実効性の保証で実行されている
請求の信頼性	取引の発生、発生、取引や取引内容が実際に発生していること(例:実効性検証)に示されている取引は実効性の保証で実行されている

出典「独立行政法人に示する会計監査に係る報告書」(財政制度等審議会)

財務アサーションの遵守事項と日本版SOX法は以下の通り

(3) 内部統制の役割と責任

- 経営者: 内部統制の整備・運用の最終責任者、特に統制環境等の決定への大きな影響を行使
- 取締役会: 整備・運用の基本方針の決定及び整備及び運用の監督責任
- 監査役又は監査委員会: 整備・運用状況を監視・検証・報告する役割と責任
- 内部監査人: 内部統制の整備及び運用の状況を検討・評価・改善を促す役割
- 組織内のその他の者: 自らの業務とその関連において一定の役割を担っている

内部統制は全社での役割分担の管理活動であり、内部監査人の立場が求められる

第1章のまとめクイズ

問題1: 日本版SOX法(金融商品取引法)は、上場企業および()+()が対象である。

問題2: 金融商品取引法は、()の内部統制義務付けた外部の監査人の監査義務付けがあり、()が強化された。

問題3: 日本版SOX法の目的は内部統制の()にあり、そのための()の整備が求められる。

問題4: 日本版内部統制では基本的要素を実現するために必要な()を通知し、4項目の要素とした。

問題5: 米国SOX法に対して、日本版SOX法の特徴は()、()の不採用、不備の部分は区分、監査の独立性(優り)がある。

問題6: 日本版SOX法では、()の遵守することが必須の要件となる。

第2章 IT内部統制の構造

- 2.1 財務報告とアプリケーションシステムの関係
- 2.2 IT統制の構造
- 2.3 IT統制と各標準の関係

2.1 財務報告とアプリケーションシステムの関係

- (1) 財務報告とアプリケーションシステムの関係
- (2) 評価範囲の決定と対象となるITの把握

(1) 財務報告とアプリケーションシステムの関係

出典「システム管理標準 監査報告(財務報告に係るIT統制システム)」(標準審議会)

戦企業は連結子会社、持分法適用関連会社を含めた連結計算による財務報告(合併財務報告)が求められる

(2) 評価範囲の決定と対象となるITの把握

※: 連結グループ内への売上高
 - : システム間の情報の流れ
 ...: IT基盤の利用

出典「システム管理標準 監査報告(財務報告に係るIT統制システム)」(標準審議会)

事業拠点の組織図及び業務プロセス図に「等分」で「業務プロセス」および「IT基盤」は評価対象である

2.2 IT統制の構造

- (1) 内部統制におけるITの統制分野
- (2) IT統制の要件
- (3) IT内部統制の構造

(1) 内部統制におけるITの統制分野

出典「システム管理標準 監査報告(財務報告に係るIT統制システム)」(標準審議会)

IT統制分野は全社的な内部統制に示すIT統制分野に限定され、財務報告に直接影響を及ぼすIT統制分野に限られる。IT業務標準統制(を支配するIT統制)に限られる

